高槻病院

糖尿病内分泌内科

指導担当医（役職）

吉田　健一（主任部長）

実習概要

実習コース

２週間コース

概要

糖尿病内分泌内科の主治医団の一員として診療に参加します。初期研修医、指導医とともに1～2人の患者を受け持ち、毎日医療面接と身体診察を行います。担当患者についてカンファレンスでプレゼンテーションを行い、ディスカッションします。糖尿病教育入院で糖尿病の患者教育、血糖コントロールや合併症の評価について学びます。また、内分泌疾患についても入院症例があればホルモン負荷試験を見学し、その結果の評価方法について学びます。

実習スケジュール

1. 主治医団としての実習：患者さんを1～2名担当する。毎朝、担当症例を診察し、病状を把握する。指導医とともに毎日回診する。可能な限り検査や糖尿病教室にも同行する。カンファレンスで担当症例のプレゼンテーションをする。
2. 糖尿病教室の見学
3. 外来見学（2週間のうち1回）
4. 甲状腺エコー下穿刺見学（水曜日15時）
5. 糖尿病病棟症例検討（火曜日13時30分）
6. 糖尿病内分泌カンファレンス（水曜日16時）
7. 糖尿病看護認定看護師による血糖測定手技指導を受ける（希望者のみ）。

学生へのメッセージ

糖尿病教育の基本、治療方針の決定、合併症の評価について患者さんを通じて学んでいただきます。

また、常に入院患者がいるとは限りませんが、内分泌疾患（下垂体、甲状腺、副腎）疾患の勉強をする機会もあります。

外来では2型糖尿病を中心に、1型糖尿病や妊娠糖尿病、甲状腺疾患などの診療を見学することができます。

糖尿病や内分泌疾患に興味のある方はもちろん、将来どの診療科に進んでも役に立つ実習ができます。